

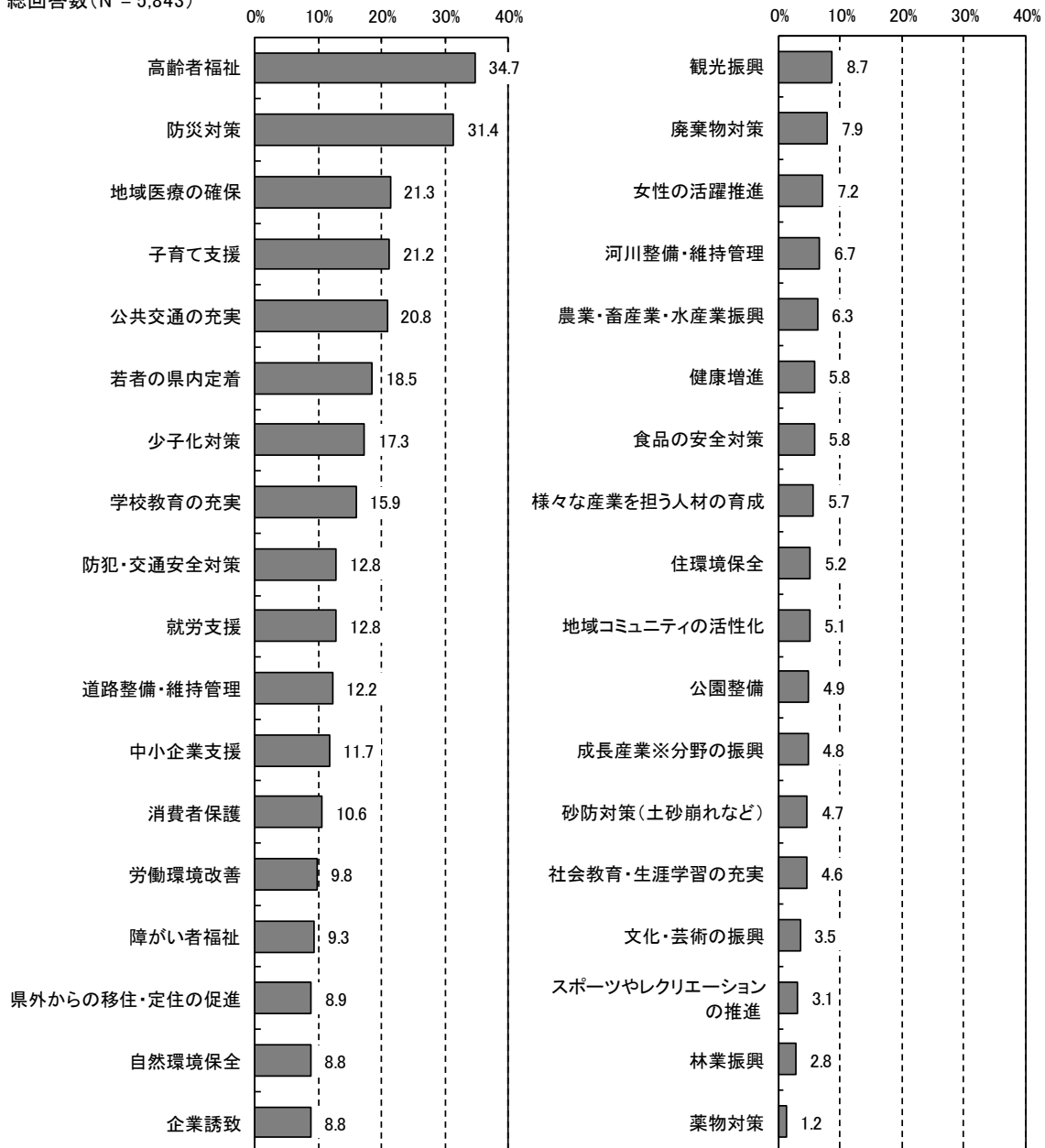
問1 1 重点的に進めるべきだと思う分野

問1 1 あなたは、今後、県がどのような分野を重点的に進めるべきだと思いますか。
(5つまで)

全体(図 11-1)でみると、「高齢者福祉」が 34.7%と最も高く、次いで「防災対策」(31.4%)、「地域医療の確保」(21.3%)の順となっている。

図 11-1 重点的に進めるべきだと思う分野

回答者数(n = 1,488)
総回答数(N = 5,843)



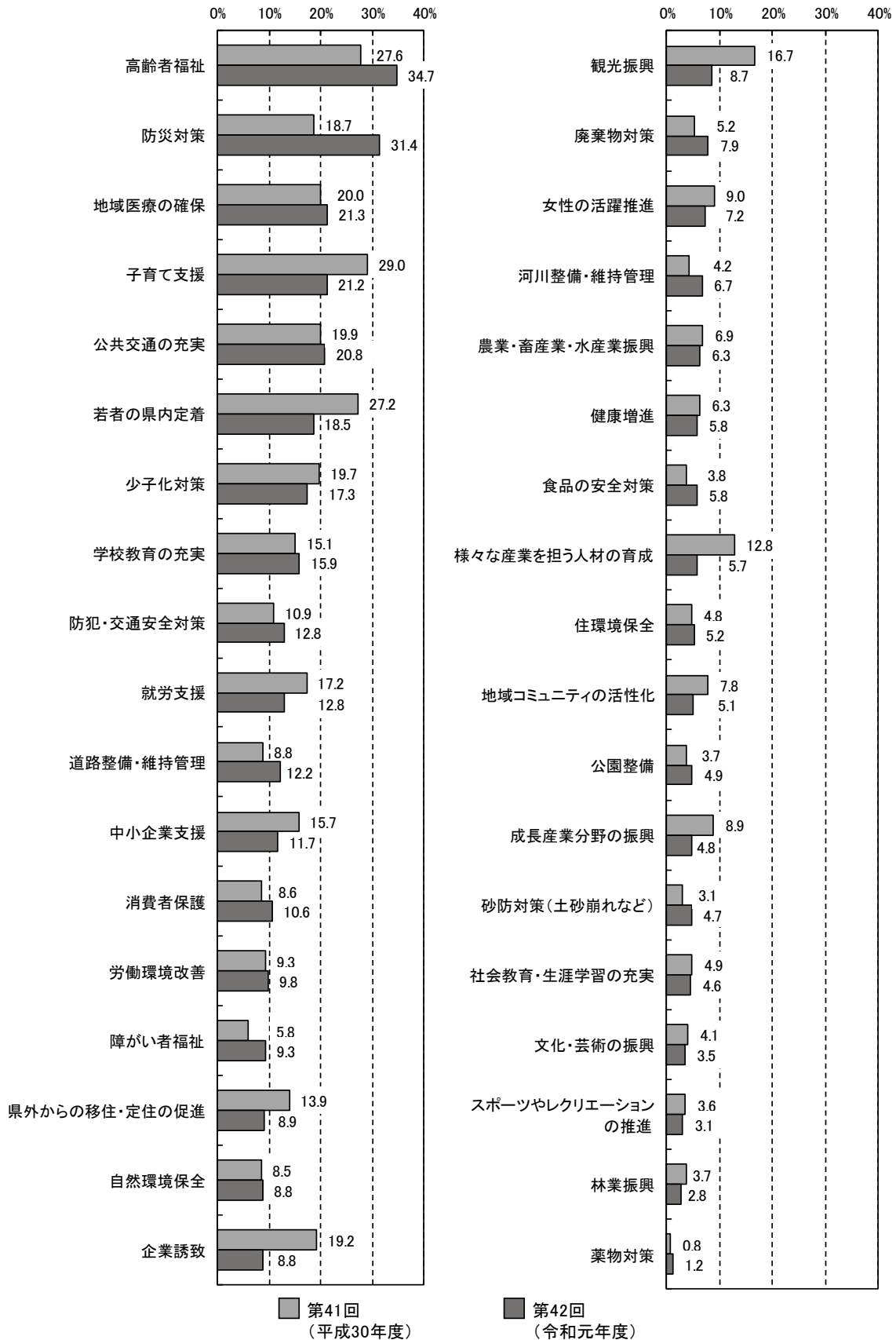
※ 成長産業: 岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている(令和元年度現在)

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

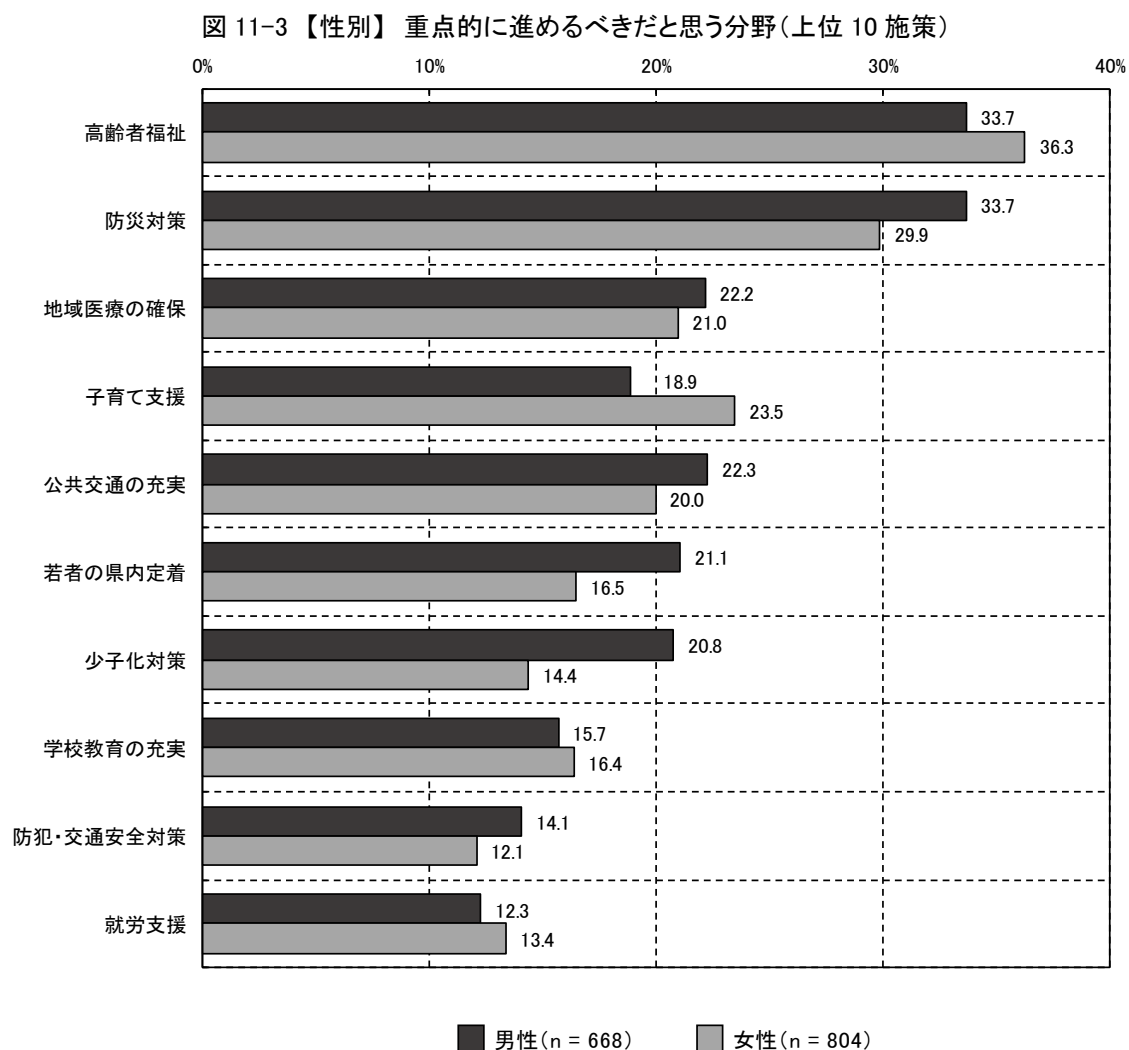
・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

前回比較（図 11-2）で見ると、前回第2位の「高齢者福祉」が最も高く、次いで、前回第8位の「防災対策」の順になっている。

図 11-2 【前回比較】 重点的に進めるべきだと思う分野

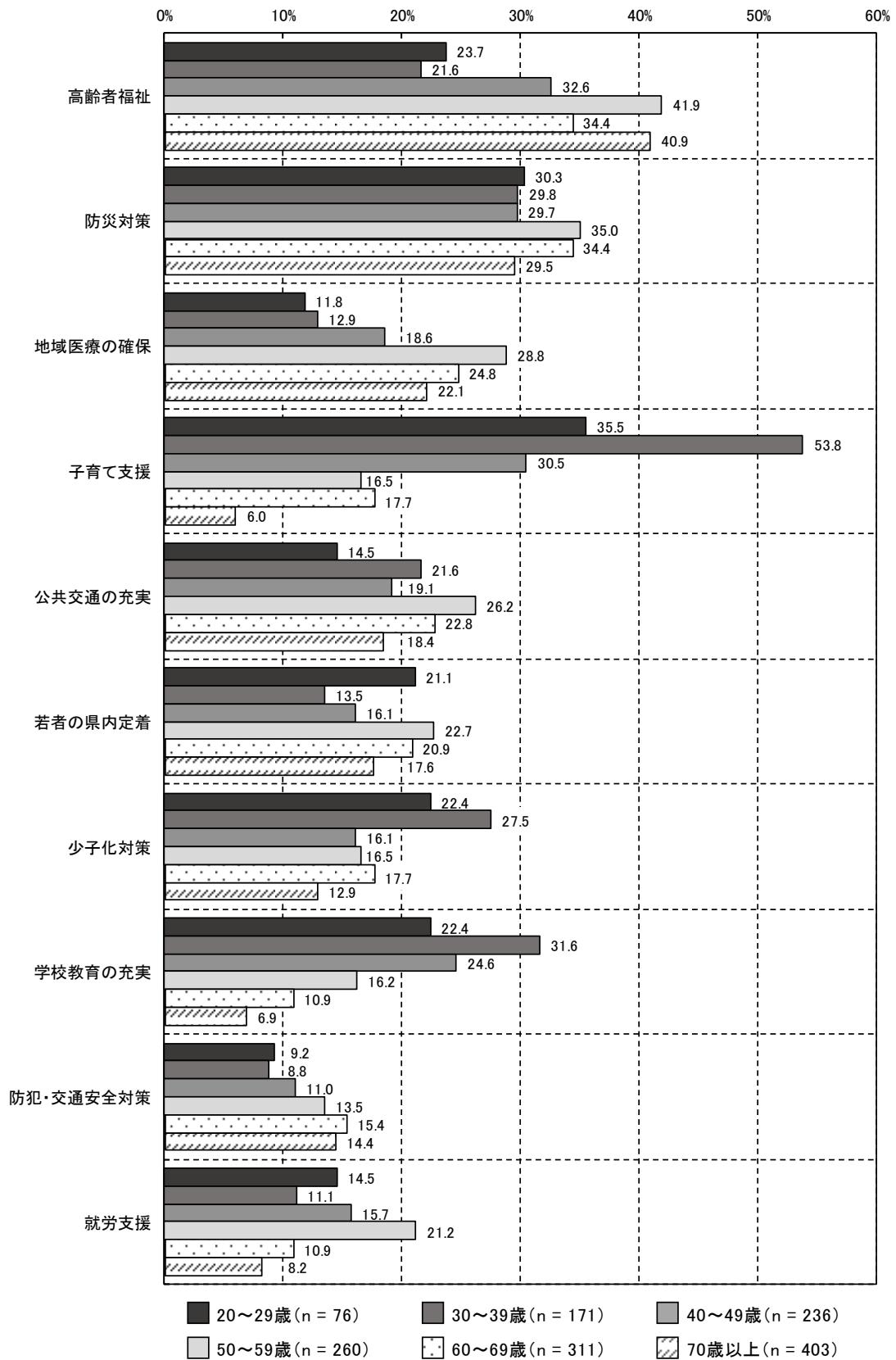


性別（図 11-3）で見ると、男女ともに「高齢者福祉」が最も高く（男性は「高齢者福祉」と「防災対策」が同率）、次いで、男性は「公共交通の充実」、女性は「防災対策」、「子育て支援」の順になっている。「少子化対策」では男性が女性より 6.4 ポイント、「子育て支援」では女性が男性より 4.6 ポイント高くなっている。



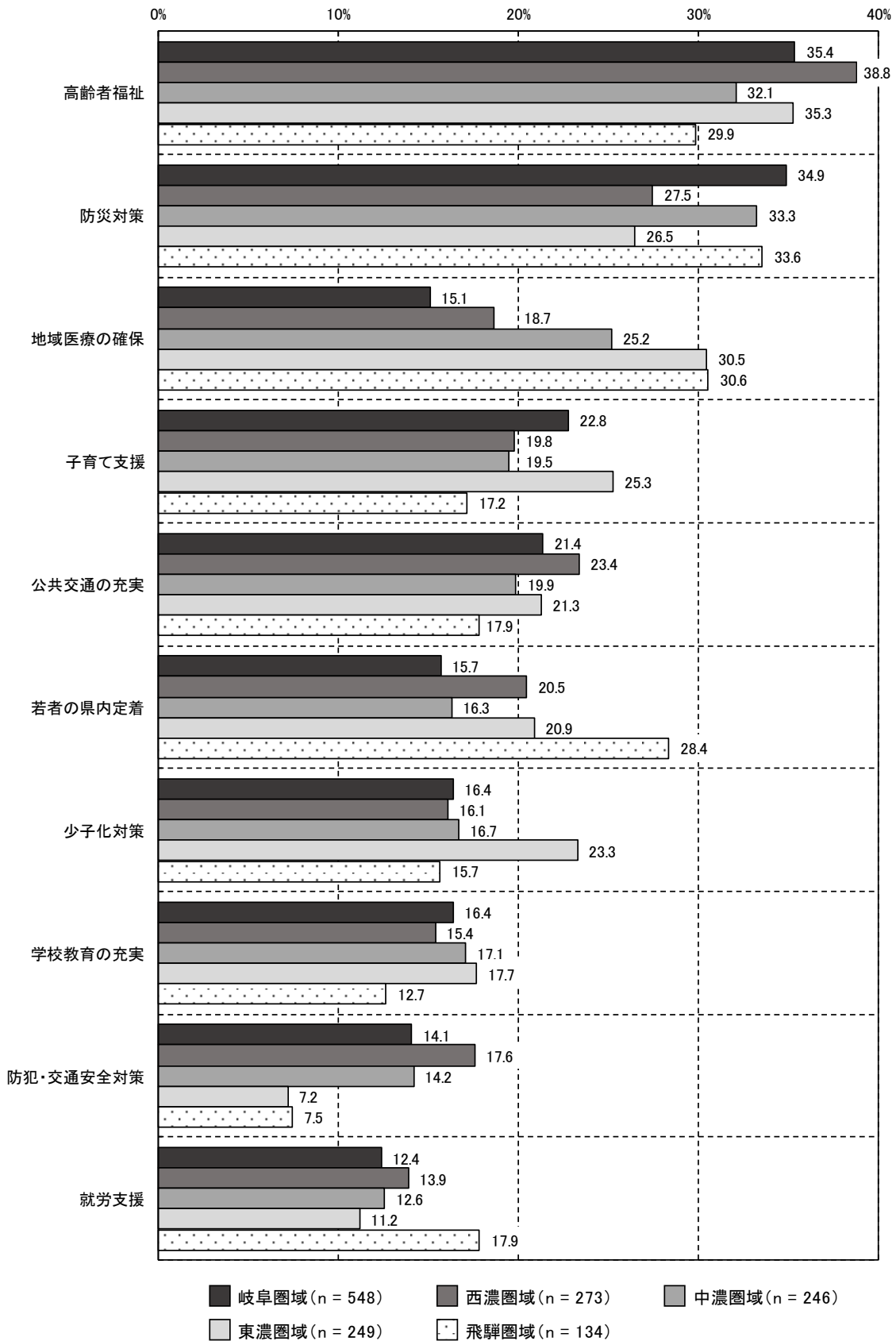
年代別（図 11-4）で見ると、20 歳代、30 歳代を除くいずれの年代においても「高齢者福祉」が最も高く（60 歳代は「高齢者福祉」と「防災対策」が同率）、20 歳代、30 歳代は「子育て支援」が最も高くなっている。

図 11-4 【年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



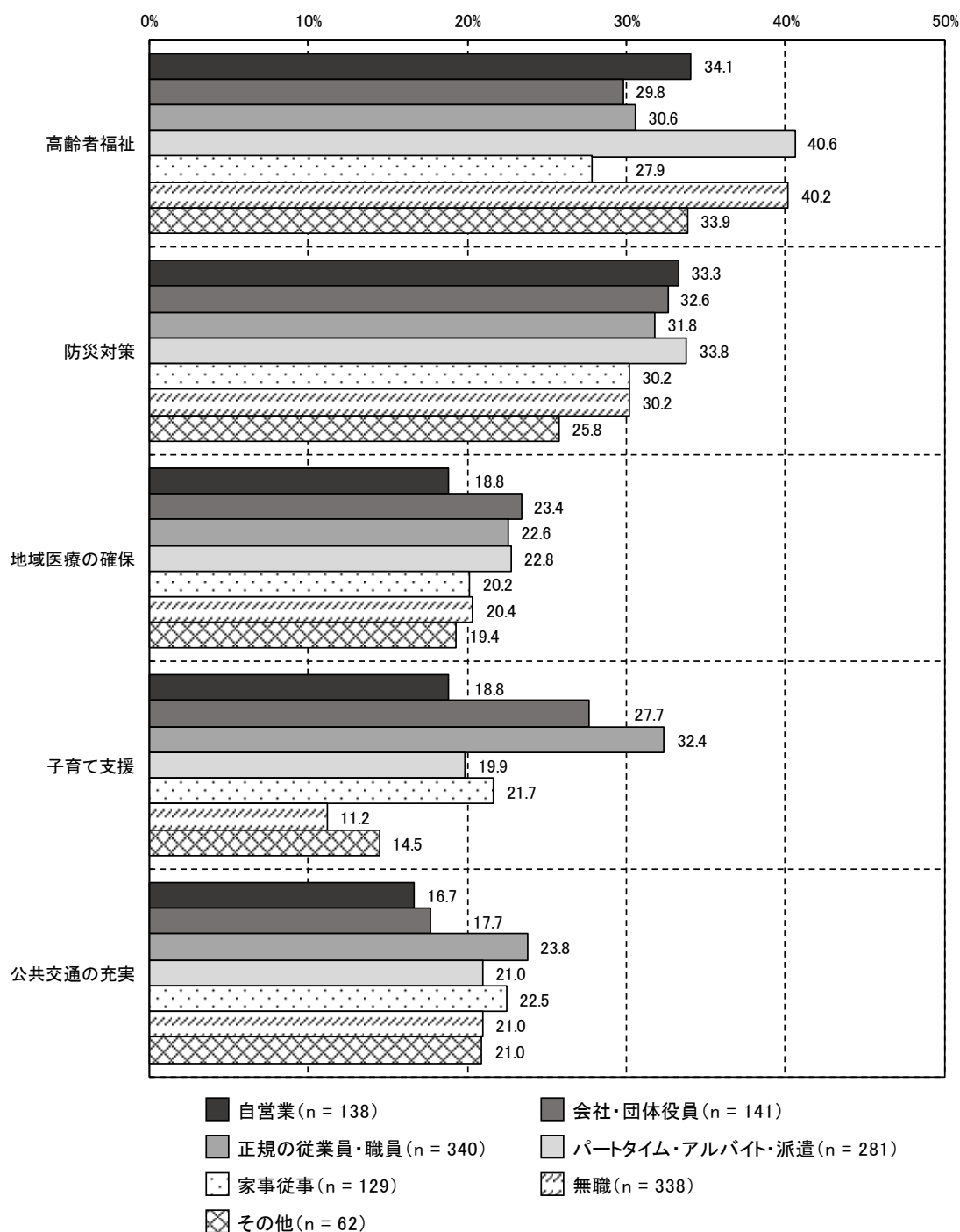
居住圏域別（図 11-5）で見ると、岐阜圏域、西濃圏域、東濃圏域では「高齢者福祉」が最も高く、そのうち西濃圏域が 38.8%と最も高くなっている。中濃圏域、飛騨圏域では「防災対策」が最も高くなっている。

図 11-5 【居住圏域別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



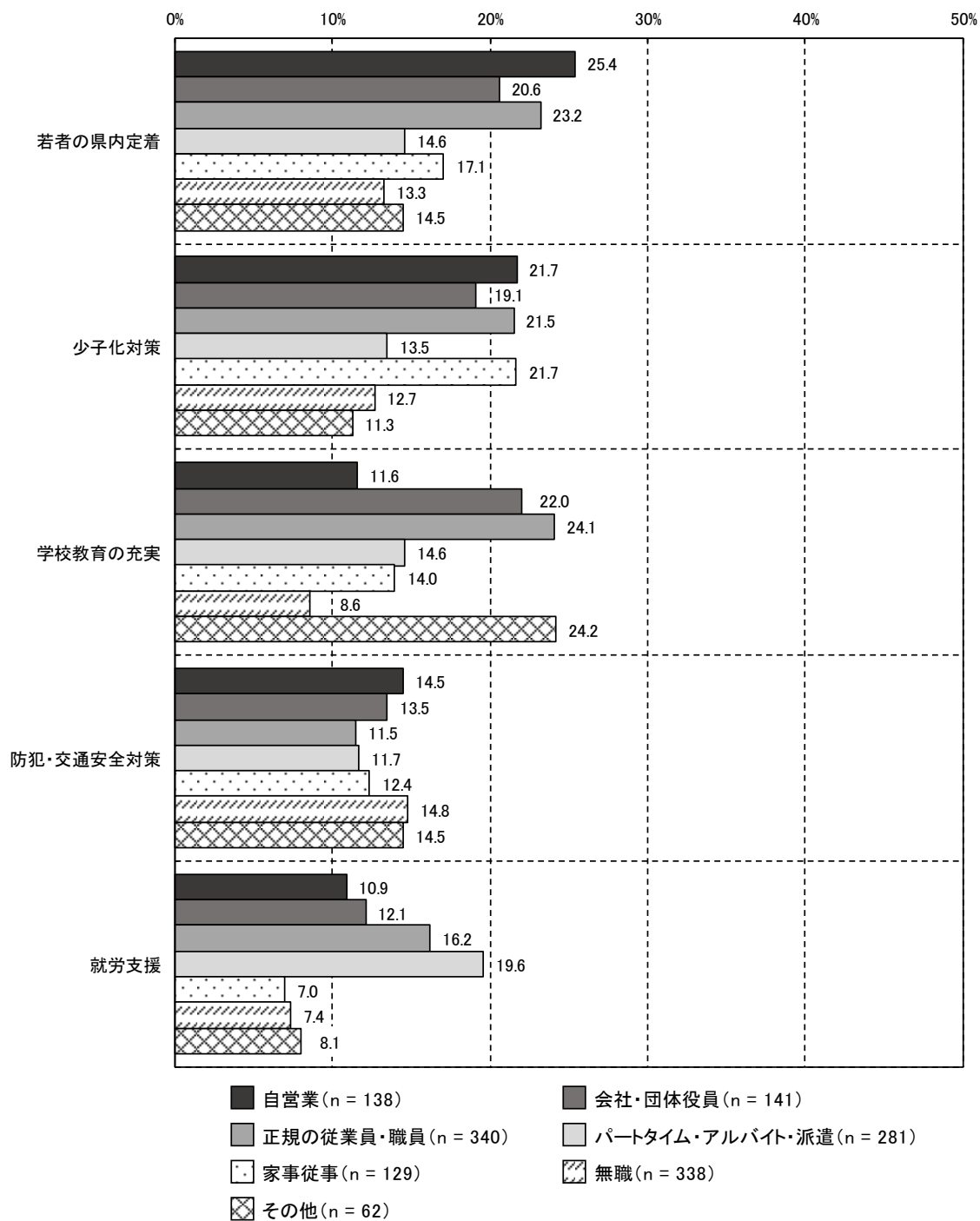
職業別（図 11-6）で見ると、自営業、パートタイム・アルバイト・派遣、無職、その他は「高齢者福祉」が最も高く、会社・団体役員、家事従事は「防災対策」が最も高く、正規の従業員・職員は「子育て支援」が最も高くなっている。

図 11-6 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 11-6 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野（続き）



※ その他には、自由業、学生を含む。